

2019年4月19日（金）第2号

# 共同研究推進委員会通信

発行：教育学部共同研究推進委員会共同研究推進委員長

## アドバイザースタッフ、今日（4/19）が締め切りです！

平成31年度が始まり、講義や学生指導、会議などで、怒涛のような毎日が続いていることと思います。共同研究推進委員会においては、附属学校共同研究者の調整がほぼ終了したところです。また、先日お知らせ致しましたように、只今、平成31年度のアドバイザースタッフ及び地域連携部会委員の募集を行っております。両者とも、本日が締め切りとなっておりますので、スタッフを希望する先生方にはお忘れなきようお願い致します。なお、昨年同様にお引き受けいただける場合は、あらためて連絡する必要はございません。

さて、今回はアドバイザースタッフ派遣事業のこれまでの実績についてお知らせしたいと思います。アドバイザースタッフ派遣事業は大学が有する研究活動の成果を地域に還元することを主な目的として実

施してきました。記憶が定かではありませんが、平成21年度頃から始まったのではないかと思います。当時の派遣実績については、いろいろと調べてみたのですが、見つけることができませんでした。

正確な記録として残っているのは平成25年度以降です。平成25年度は222回の派遣が記録されています。私自身はその当方でさえ、すごい派遣回数に達したと思っておりました。ところが、平成30年度には、その2倍近い391回の派遣回数となりました。教育学部そして教職大学院の多くの先生方、特に、教職センター（旧附属教育実践総合センターを含む）の先生方が、本事業を積極的に進めていただいた結果だと考えております。教員の削減が続くなか、私たちにとっても、今後は苦しい場面も出てくるかもしれません。先生方の合意形成をはかり

ながら本事業を進めていきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。（文責：推進委員長）

